

男女共同参画及びユニバーサルデザイン推進に係る調査速報値について

令和5年度に予定している、中野区男女共同参画基本計画及び中野区ユニバーサルデザイン推進計画の改定に向けた基礎資料とするために実施した、意識調査の速報値（単純集計）を以下のとおり報告する。

1 調査概要

- (1) 調査対象 区民（18歳以上）、区内事業所（いずれも無作為抽出）
- (2) 調査方法 郵送により依頼し、郵送またはオンラインによる回答
- (3) 調査期間 令和4年7月6日～8月5日

2 回収状況

調査対象	発送件数	回収件数	回収率
区民	2,000件	717件	35.9%
事業所	2,500件	391件	15.6%

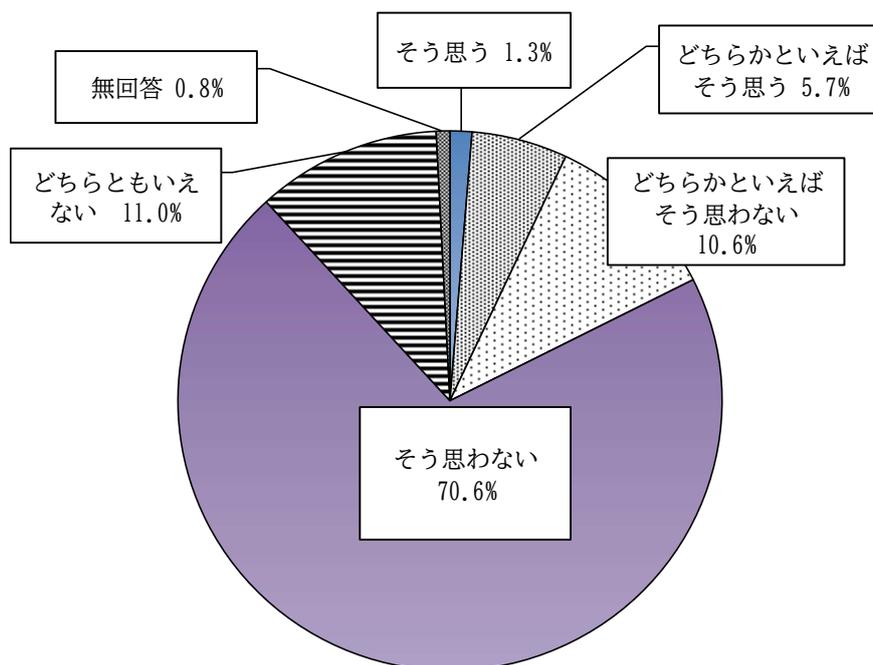
3 調査結果抜粋

- (1) 男女共同参画に関する調査

①区民対象

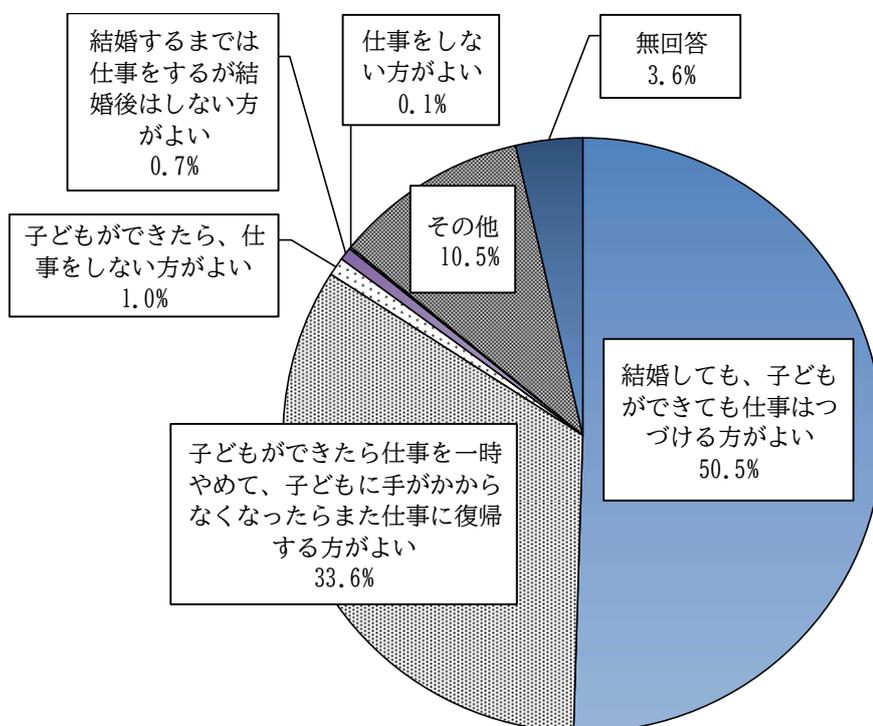
○「男性は外で働き、女性は家庭を守るべき」という考え方について

「そう思わない」(70.6%)が最も多く、「どちらかといえばそう思わない」(10.6%)と合わせると、81.2%である。



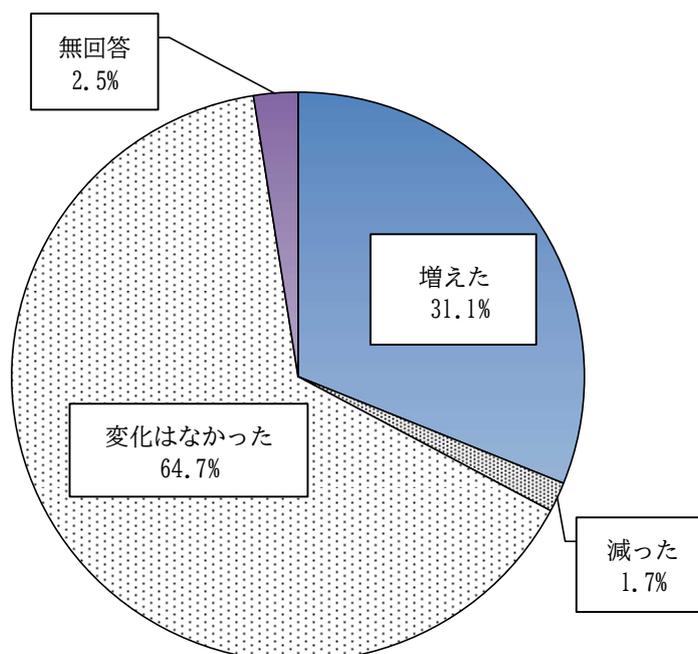
○女性が働くことについての考えについて

「結婚しても、子どもができてもしっかり仕事はつづける方がよい」(50.5%)が最も多く、次いで「子どもができたなら仕事を一時やめて、子どもに手がかからなくなったらまた仕事に復帰する方がよい」(33.6%)となっている。



○新型コロナウイルス感染症の影響下における家事時間の変化について

「変化はなかった」(64.7%)が最も多く、次いで「増えた」(31.1%)となっている。

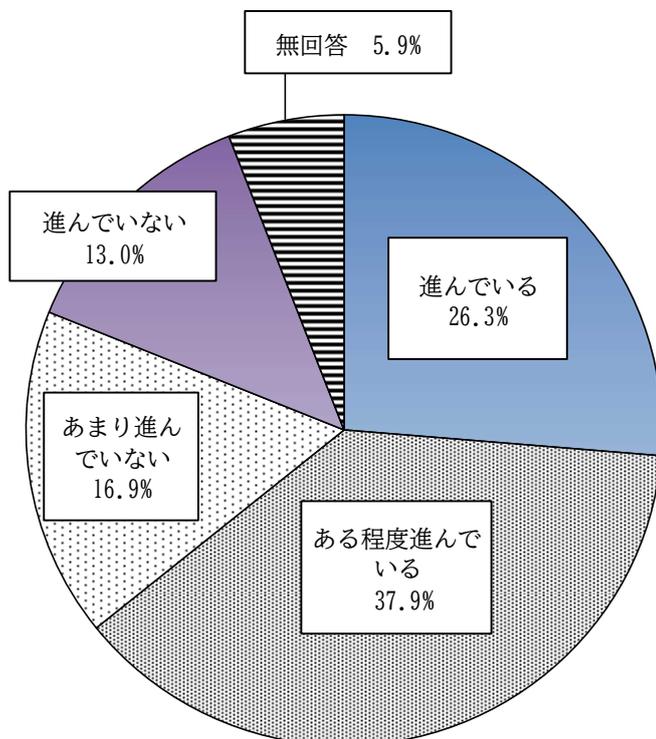


※その他、男女平等への関心と意識、教育、ワーク・ライフ・バランス、地域活動、防災、暴力の防止、健康、ハラスメントに関する設問を設定

②区内事業所対象

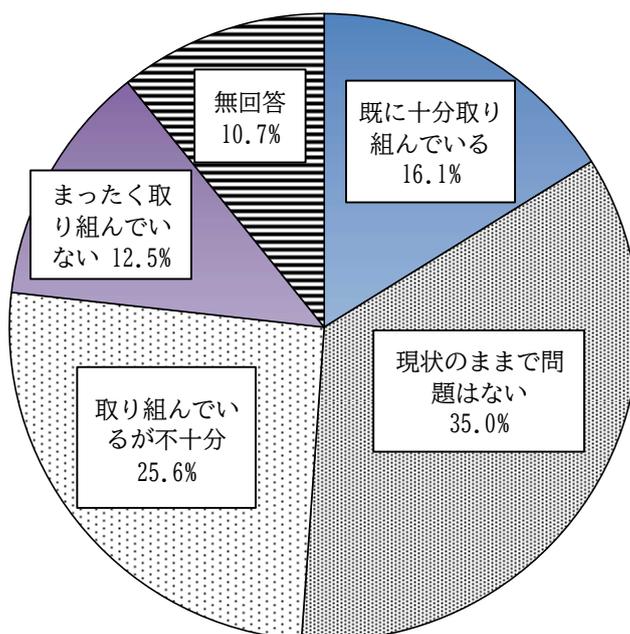
○女性が活躍するための取り組みが進んでいるかどうか

「ある程度進んでいる」(37.9%) が最も多く、次いで「進んでいる」(26.3%) となっている。



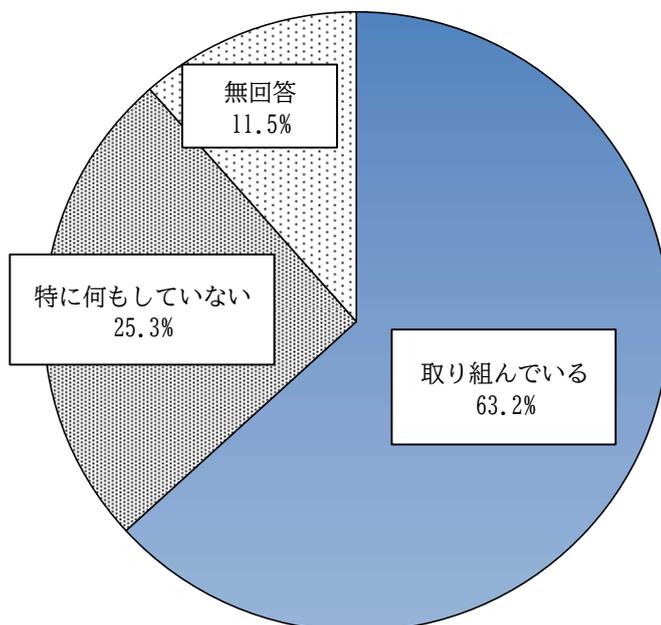
○ワーク・ライフ・バランスに関する取り組みの「現状」

「現状のままで問題はない」(35.0%) が最も多く、次いで「取り組んでいるが不十分」(25.6%) となっている。



○セクシュアル・ハラスメントの防止策や対応策について

「取り組んでいる」が63.2%で、「特に何もしていない」が25.3%となっている。

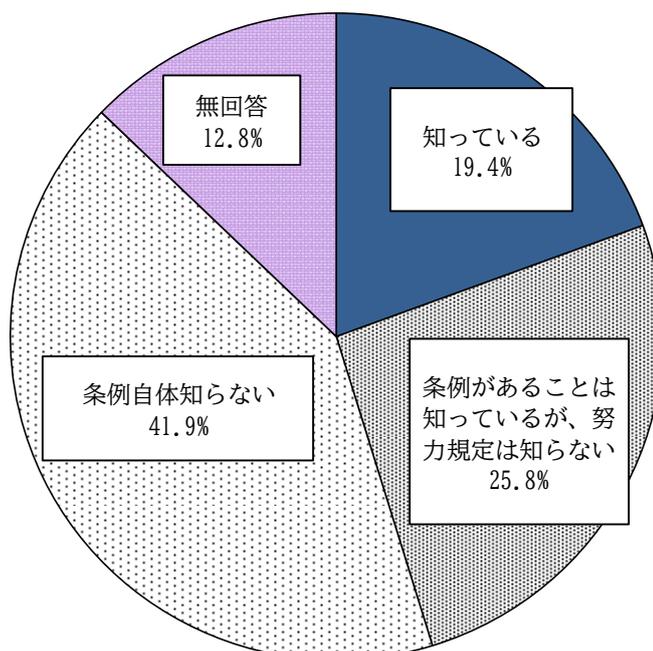


※その他、育児・介護休業に関する設問を設定

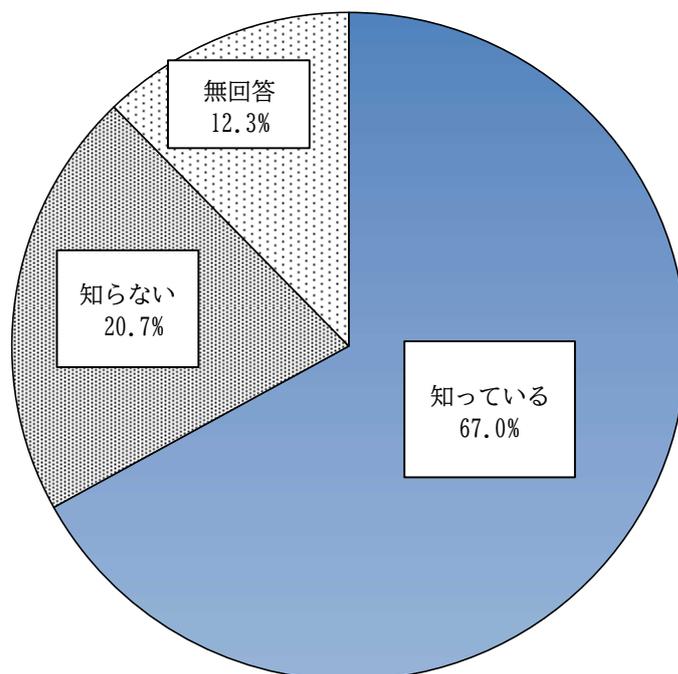
(2) ユニバーサルデザインに関する調査

○中野区ユニバーサルデザイン推進条例にある事業所の努力規定について

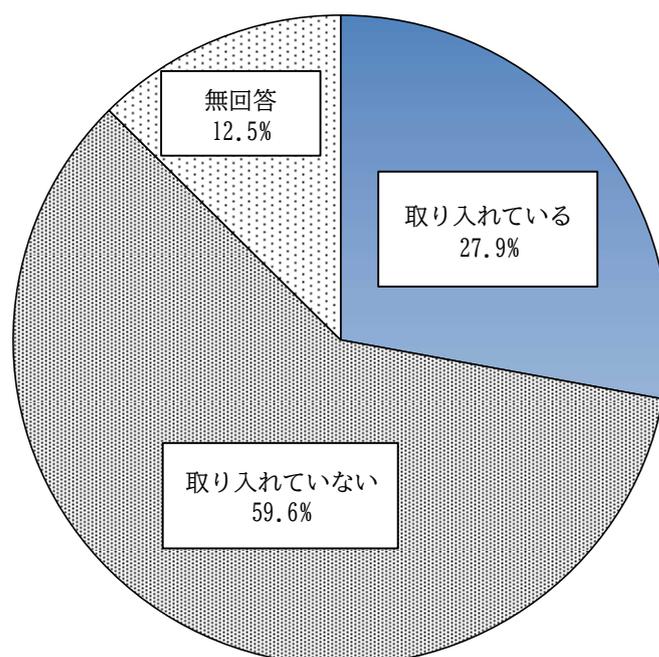
「条例自体知らない」(41.9%)が最も多く、次いで「条例があることは知っているが、努力規定は知らない」(25.8%)となっている。



○障害者差別解消法の正当な理由のない障害を理由にした差別の禁止について
「知っている」が67.0%で、「知らない」が20.7%となっている。

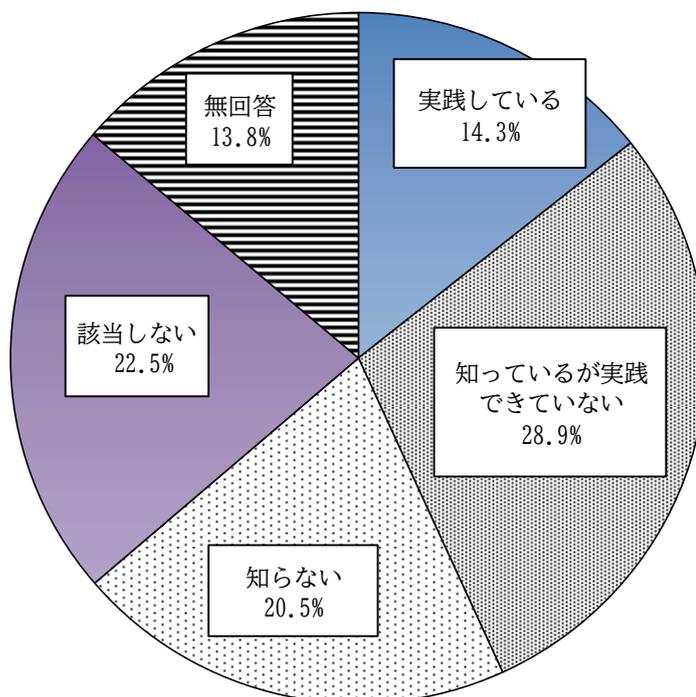


○自分の事業所でユニバーサルデザインを取り入れているかどうか
「取り入れている」が27.9%で、「取り入れていない」が59.6%となっている。



○自分の事業所における性的指向や性自認（SOGI）に配慮した運営について

「実践している」が14.3%で、「知っているが実践できていない」が28.9%となっている。



※その他、ユニバーサルデザインの設備、商品・サービスに関する設問を設定

4 今後の予定

- 令和5年 3月 調査結果の報告
- 8月 計画改定の考え方について
- 10月 計画素案
- 12月 計画案
- 令和6年 3月 計画改定